

これからも大切にしたいこと！

「知識を教え込む」ことではなく

**「科学的に考えるたのしさ」を知らせたい**

<実体積原子模型>は、科学（化学）を考える物差し

子ども達から大歓迎だ！



■6月も、<多様な活動>にチャレンジしたい！



★今の日本でもっとも必要なことは、**少しでも多くの科学知識を教え込むこと**ではなくて、**<科学的に考えるたのしさ>を知らせることだ**と私は考えています。板倉聖宣（日本科学史学会会長・理学博士）

●5月13日の<法円坂子どもプラザ> Bクラスは、<もしも原子が見えたなら>と「空気の分子模型作り」でした。子ども達から高い評価をもらいました。

**授業の楽しさ** 「5・33名 4・7名 3・0名 2・1名 1・0名」

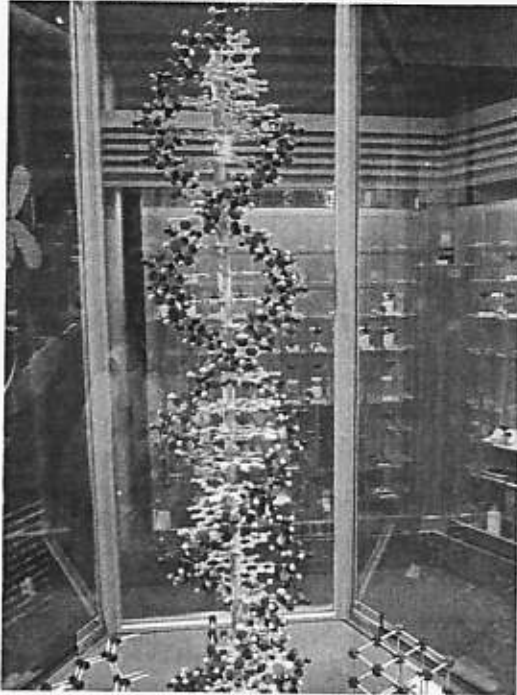
**授業の理解** 「5・23名 4・15名 3・1名 2・0名 1・0名」

\*ふだん、空気のことをふかく考えていなかったけど、今回の実験で約118種類も原子があると**知れて楽しかった**です。（MNさん4年生・5と5） \*わたしは、すべてのものが原子でできているということは、最初はわからなかったけれど、**でもわかってよかったです**。あと、**悪い分子もあるなんて**思っていなかったです。（ANさん5年生・5と4）

\*今日は、**多種多様な原子や分子を知ることができました**。分子もけいを作ったとき、やはり色でわけていて、とてもわかりやすかったです。**今日をきっかけに、分子を覚えよう**と思いますし、それに**周期表がとても役立ちます**。**きっかけを作って下っていただき**ありがとうございます。また来月も来ようと思います。（MKさん4年生・5と5）

●「小学生に原子・分子なんて？」と疑問に思う人（先生）にはぜひ読んでもらいたい

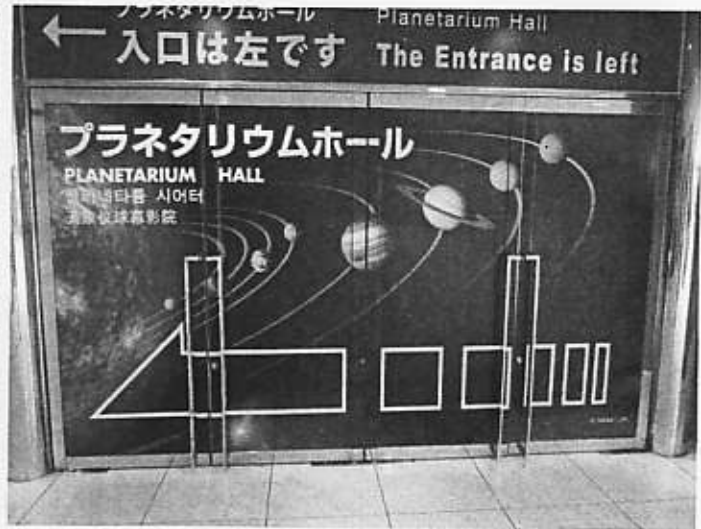
す。授業評価と感想文です。



**遠足は、シメタ！シメタ！楽しかった**

●遠足担当の皆様！ありがとうございました。久しぶりの科学館！楽しかったです。 **シメタ！の発見**

①分子模型の色が私たちとほぼ同じだったこと。



②プラネタリウム会場前の太陽系模型図。関連本もそうだけど、「大きさや距離の捉え方」に問題がある。美しいプラネタリウムの映像と解説を体感して…「なるほど！これでは、宇宙はますます近くなるなあ」と……。<法円坂子どもプラザ>の「<宇宙への道>と太陽系模型作り」の授業はやっぱり大切だなあと思いました。（自画自賛！）

**7月23日（日）第7回法円坂子どもフェスティバル**

午後の部・<もの作り>計画について（12時45分から）

（ ）班（ グループ）メンバー（ ）

★<もの作り>各班で、2種類決めてください。

**決めた方についてのお願い！**

（佐藤・高松・音田）

①子ども達が「自分で作ることができた！」「作って遊べた。たのしい！」と思えるような内容でお願いします。

②スタッフが前もって準備しておくところと、子ども達が手作りするところを決めて準備してください。

③スタッフがどのように関わるのか、（声掛け・話し方）なども含めて検討してください。「1・2年生に語りかけるように…」。

**★大原則！** スタッフの皆さんが「これは楽しい！」「ぜひ作らせたい！」と思えるもの！ ★予算は、各グループ2000円 ★材料数は50名～100名分 ★スライム作りは、現職教師が担当します。

**詳細は、佐藤CDから改めて連絡があります。皆様！よろしくお願いします。**